

平成 30 年 3 月 13 日
千葉パワー株式会社

(仮称) 蘇我火力発電所建設計画 方法書についての意見の概要

1. 意見数（説明会を除く）

約 220 件（73 通）

2. 主な意見の概要

(1) 事業計画

No.	意見の概要
1	世界が脱炭素社会を目指しており、環境省もその方向である。自然エネルギーを検討すべきであるのに、なぜ CO2 排出量の多い石炭火力発電所を建設するのか。 (類似質問 28 件)
2	現在は電力が足りている。将来的にも人口減少社会となり、電力の供給拡大が重要となる可能性は極めて低い。そうした中で、大気汚染の原因となる石炭火力発電所を建設しようとする意味が理解出来ない。 (類似質問 7 件)
3	人口減少や省エネ等により電力需要が伸びない中、石炭火力はカーボンコストの上昇が考えられ、経済合理性がないのではないか。 (類似質問 4 件)
4	発電所の建設地周辺には、環境保全に特に配慮が必要な施設が多数存在している。また、水質総量規制や硫黄酸化物総量規制の指定地域であり、過去には公害訴訟などで環境対策に取り組んできた歴史がある。現在でも二酸化窒素や降下ばいじんは環境目標値を満たしていない地点もあり、このような地域に立地することは妥当な計画ではない。 (類似質問 4 件)
5	USC 方式とあるが、この技術は、別の場所でも既に利用されていて排ガスの低減等で実績のある方式か。環境問題は発生していないのか。 (類似質問 1 件)
6	- バイオマス混焼は止めてほしい。森林を伐採して輸入することで、豊かな森が単一化し、野生動物が被害を受けたり、干ばつや洪水が発生するようになる。 - 木質バイオマスを混焼することによる環境影響についても計画段階から配慮すべき。 (類似質問 1 件)

(2) 環境全般

No.	意見の概要
7	石炭灰の全量をセメント原料などに利用するとされているが、石炭灰は現在でも処理先が無くなっている状態で、セメント需要は不透明である。また石炭灰に混ざった水銀など有害物質は、そのままセメント原料にするのは問題である。 (類似質問 6 件)
8	一般意見への見解で「今後検討し、準備書において明らかにする」とあるが、準備書において、例えば燃料使用量やそれに付随するばい煙に関する事項の数値も変更されるということか。方法書記載の数値には意味がないのではないか。 (類似質問 1 件)
9	掘削残土は構内で有効利用するとのことだが、一時的に積上げ保管をするなら砂塵対策が必要。具体的な対策を準備書に記載してほしい。 (類似質問 1 件)

(3) 環境（大気質）

No.	意見の概要
10	・蘇我周辺は粉じんで困っている。なぜ環境影響評価項目に大気環境の石炭粉じんが入っていないのか。 (類似質問 21 件)
11	・最良の環境対策設備を導入とのことだが、現状で NOx も SPM も PM2.5 も千葉県基準値を超える地点がある。 ・現在も、空気の汚れのため気管支の病気になっている人がいる。夏に光化学スモッグにより、子供たちが外遊びできなくなる。 (類似質問 20 件)
12	・石炭火力発電所は、石炭中に含まれる有害物質（ヒ素、水銀など）を多く排出し、地域の環境や住民の健康に与える影響が大である。 (類似質問 4 件)
13	・施設の稼働に伴う大気への影響をどのように考えているか。 (類似質問 4 件)
14	・工事中、運転開始後の大気質調査で、四季毎に 1 週間の調査を行うとあるが、これは 1 度行えばお終いなのか。工事・運転期間中の調査は行わないのか。 (類似質問 3 件)
15	・使用する石炭の性状及び含有の重金属類の挙動（除去プロセス）についてのマスバランスを準備書に記載してほしい。 (類似質問 1 件)
16	・悪臭の原因となるアンモニア設備及び可燃ガス（水素、油ミスト等）の放出口は住宅地から少しでも離れるように発電設備の西側に設置することを検討してほしい。

(4) 環境（騒音・振動）

No.	意見の概要
17	・交通量の現地調査期間等は、どのような根拠で調査日を決定するのか。
18	・低周波音の予測を行う際、発生源に煙風道のダクト部分の振動によって発生するものがあれば加味してほしい。

(5) 環境（水質）

No.	意見の概要
19	・東京湾岸には 17 ヶ所の火力発電所が稼働しており、さらに石炭火力発電所が加われれば、湾の水温上昇が見込まれる。長期的に東京湾岸で複数の計画が進んだ場合の影響も評価すべき。 (類似質問 12 件)
20	・有害物質を海に流さないでほしい。少しずつでも、長い時間水銀等が流されたら東京湾の魚を食べられなくなるだけでなく損害賠償問題になる。 (類似質問 1 件)
21	・工事中の排水については、排水系統フローのほか、大雨等により仮設沈殿池の容量をオーバーした時の対策、海域排水の水質条件と監視方法、水質条件を超えた場合の措置なども併せて準備書に記載してほしい。
22	・底質の調査地点に排水口から離れた場所も入れるべき。

(6) 環境（動物・植物）

No.	意見の概要
23	・千葉県中央博物館「生態園」の動物、植物への影響はないのか。
24	・計画地付近は、千葉市の鳥コアジサシの営巣や飛来が確認されている。コアジサシへの影響を配慮すべき。動物が選定項目にない理由は何か。

(7) 環境（温室効果ガス）

No.	意見の概要
25	・パリ協定の達成のためには、日本政府は2050年に温室効果ガス排出量を80%削減させる目標を掲げている。どのように目標を達成するか企業方針を示すべきである。 (類似質問14件)
26	・省エネ法ベンチマーク指標の見通しが示されていない。副生ガスを混焼する計画も、見かけ上の発電効率を良くするためだけに「混焼」することを考えているのであれば、環境影響上も非常に問題である。 (類似質問2件)

(8) その他

No.	意見の概要
27	・工場が万一罹災した場合、近隣環境にどの程度の影響が出るのか。最悪のシナリオを想定して影響度合いをご説明願いたい。 (類似質問3件)
28	・公開される準備書は、縦覧期間後の閲覧を可能にするほか、縦覧期間中もコピーや印刷を可能にするなど利便性を高めるよう求める。「無断複製等の著作権に関する問題が生じないよう留意する」ことは、ダウンロードや印刷を禁じる理由とはならない。 (類似質問1件)
29	・説明会で、挙手方式での質疑応答を望む声が上がったにも関わらず、紙に質問を書かせて一方的に回答するやり方で終始した。質問への回答になっていないものがあったり、再質問をすることができず、住民にとっては不十分であった。市民に寄り添った説明会のあり方を望む。 (類似質問1件)
30	・本事業の目的の一つに「地元地域経済に貢献していくこと」と公に見解を出しているのならば、本事業の建設・運転・保守については、地元の企業や人材を優先的に採用してほしい。

以上